

「聴こえ」の悩み、ひとりで抱えないで

3 / 1000

この数字は、日本における聴覚障害者の割合です。

この数字を多いと思う方もいれば、少ないと感じる方もいるでしょう。でもここには、歳を重ねて耳が聴こえにくくなった方や、聴こえづらいつれど身体障害者手帳を取得していない・できない方は含まれていません。実際にはもっと多くの方が「聴こえ」に困難を感じ、問題を抱えながら暮らしています。これから先、自分や家族が当事者になる可能性も含めると、聴覚障害は、多くの方にとって“他人ごと”ではないはず。

そう、悩みを抱えているあなたは、決してひとりではないのです。

聴覚障害があり
気持ちをうまく
表現できない

ろう者の同僚と
コミュニケーションが
取れない

高齢により耳が
遠くなってきた

子どもが
聴覚障害を
持っている




見た目ではわからない聴覚障害は、当事者が多くの困難を抱えていながらも、なかなか理解されません。だからこそ、当事者同士、または当事者と支援者が出会い、お互いの課題や悩みを共有し、手を取り合って解決していく必要がある。そう考えた私たち4Heartsは、「みみとこころのポータルサイト」を通して、聴覚障害に関するさまざまな情報を発信しています。たとえば、自分と似たケースの方の体験談は、人生のロールモデルになります。医療やテクノロジーに関する情報があれば、困りごと解決への道筋が開けてきます。誰かの悩みを知り、自分の困りごとを話すことで、心が軽くなるだけではなく、みんながより良く生きる方法を一緒に見出していくことだってできるのです。

まずはお気軽に、4Heartsのドアをノックしてみてください。

詳しくはこちら



聴覚障害当事者のエッセイ、インタビュー、
医療や障害者スポーツに関する情報など、随時更新中！

みみとこころのポータルサイト  <https://4hearts.net/>

聴こえないけど話せる。
そんな私だからこそ
伝えられることがある。

「4Hearts」代表 那須かおりからのメッセージ

生まれつき重度聴覚障害。自身の人生経験を活かし、2020年5月、一般社団法人4Hearts設立。2019年、左耳に人工内耳手術実施。当事者心理カウンセラー。

聴こえない・聴こえづらいことをまわりに伝えられていますか？言葉にすることが難しいと諦めちゃっていませんか？なんだか生きづらいなって孤立しちゃっていませんか？もうそんな必要はありません。人と人が言葉を交わし、心を伝え合う。そんな当たり前のことができて社会と一緒に作っていきましょう。

